

2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：自治体政策論特論		専修：地域専修
担当教員名：昆 忠彦		科目区分：展開科目
<p>授業科目概要：</p> <p>「自治体」と「政策」という言葉が直結し、違和感なく使われるようになったのは、高度経済成長を終えた1980年代で、国民の行政に対するニーズが多様化しはじめ、画一的な手法では対応できなくなってきた頃である。さらに2000年4月に施行された地方分権一括推進法により明治以降続いてきた中央集権的な地方自治の制度が改革され、国の自治体に対する統制が縮減される一方、自治体の自己決定権が拡充されることで「自治体政策」の重要性は一層高まった。従来制約を受けてきた個性あるまちづくりや独自の政策展開が行えると同時に、その結果に対しては責任を負わなければならなくなった。今日、縮小社会における持続可能な地域を構想するためには、過去の政策の教訓と現代的な課題を踏まえ、新たな視点を取り入れた政策立案が不可欠である。</p> <p>自治体は政策形成と自治体運営の能力を高めていくことが求められている。そこで本科目では、自治体の政策形成、政策法務、政策評価を軸に、政策過程における各テーマに応じて検討を加えていく。この分野は、地域経営や地域社会、地域行政の境界領域であるが、依然として研究発展の余地がある。新しい観点を取り入れながら、地域創生にふさわしい地域政策のあり方にアプローチしていく。</p>		
<p>履修上の留意事項：</p> <p>自治体政策全般及び地域経営に関心があることが望ましいが、当科目について部分的に関心のある場合であってもかまわない。様々な理論やケーススタディからアイデアを得て、実践的研究を深めるという方法を重視しており、多様な学生が集まり議論を重ねる方法をとりたい。テキストは下記の参考文献に限らず、受講を希望する学生の皆さんと相談しながらそれぞれの研究領域に資するテキストや進め方を決めていきたい。</p>		
教科書・参考書（参考文献）		
<p>書名：実践ソーシャルイノベーション</p> <p>著者／編者：野中郁次郎他</p> <p>出版社：千倉書房</p> <p>出版年：2014年</p>	<p>書名：地域の価値を高める新たな官民協働事業のすすめ方</p> <p>著者／編者：井熊均・石田直美</p> <p>出版社：学陽書房</p> <p>出版年：2018年</p>	
<p>書名：自治体政策のイノベーション</p> <p>著者／編者：今井照他</p> <p>出版社：ぎょうせい</p> <p>出版年：2004年</p>	<p>書名：新しい公共を担う人々</p> <p>著者／編者：奥野信宏・栗田卓也</p> <p>出版社：岩波書店・</p> <p>出版年：2010年</p>	
<p>書名：実践まちづくり読本</p> <p>著者／編者：大森彌他</p> <p>出版社：公職研</p> <p>出版年：2008年</p>	<p>書名：地域経営論</p> <p>著者／編者：矢口芳生</p> <p>出版社：農林統計出版</p> <p>出版年：2021年</p>	
<p>書名：未来を変えた島の学校</p> <p>著者／編者：山内道雄他</p> <p>出版社：岩波書店</p> <p>出版年：2015年</p>	<p>書名：豊かな地域はどこが違うのか</p> <p>著者／編者：根本祐二</p> <p>出版社：ちくま新書・</p> <p>出版年：2013年</p>	
ディプロマ・ポリシー（DP）との関係		
DP1	DP2	DP3
	○	○

<p>到達目標：</p> <p>自治体の役割や構造を理解し、人口減少や少子高齢化に伴う今日的な課題を把握、分析しながら自治体政策を構想し、具体的に落とし込めることを目標にする。その過程では、行政主体だけでなく、住民や地域コミュニティ、民間企業との連携を重視し、地域社会の持続可能性を視野に入れることとする。</p>	
<p>評価方法及び評価基準：</p> <p>毎回の授業参加の度合い、内容（理解、応用及び批判的思考力）を6割、期末レポート等を4割とし、研究科の成績評価基準に照らして評価を行う。</p>	
<p>授業の方法：</p> <p>授業では、教科書・参考書等の文献を読み、レジュメに基づいて報告、それに即して議論を行っていくことを中心とする。また、必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>第1回～ 第5回</p>	<p>テーマ：自治体ガバナンスと政策形成（政策過程を中心に）</p> <p>内 容：条例制定と政策法務、NPMと市場化テスト、指定管理者制度など、変化する自治体の管理手法を紐解きつつ政策形成について検討していく。</p> <p>教科書／参考書 『実践ソーシャルイノベーション』 『地域の価値を高める新たな官民協働事業のすすめ方』 『自治体政策のイノベーション』</p>
<p>第6回～ 第10回</p>	<p>テーマ：住民協働と政策形成（政策主体を中心に）</p> <p>内 容：自治体の政策展開への住民参加とその前提となる情報公開、地域住民やNPOなど民間機関による協働と自治体が進める政策形成について検討していく。</p> <p>教科書／参考書 『新しい公共を担う人々』 『実践まちづくり読本』</p>
<p>第11回～ 第15回</p>	<p>テーマ：地域経営と自治体の政策展開（政策課題を中心に）</p> <p>内 容：少子高齢化がすすむ今日において、持続可能な地域経営と自治体の政策形成について検討していく。</p> <p>教科書／参考書 『地域経営論』 『未来を変えた島の学校』 『豊かな地域はどこが違うのか』</p>